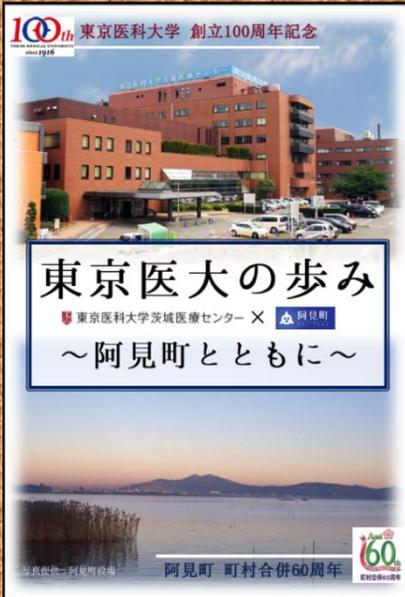


# 茨城・八王子×100周年

## ～地域とコラボ・歴史写真パネル展示～

昨年11月に茨城医療センターへ、今年1月に八王子医療センターへ歴史写真パネルを掲出しました。この企画は、地域とともにある大学病院ということを再確認し、**今後もともに発展していきたいという想いと、地域のみなさまに感謝の気持ちを込めて、地域の歴史写真と対比させながら、東京医大の歴史も振り返っていただこうと考え、展開しているものです。職員のみなさんもぜひ一度ご覧ください。**

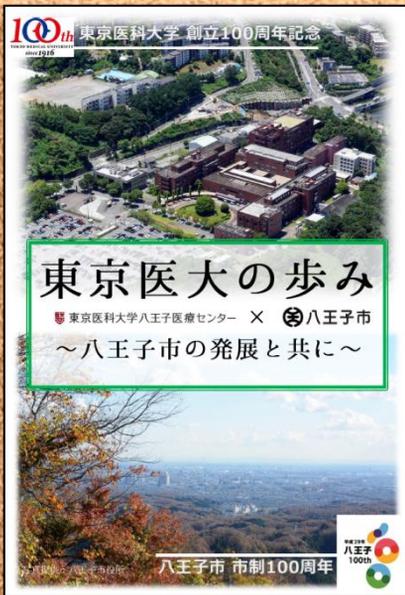


@茨城医療センター  
 ギャラリー「ほっとスペース」

阿見町は2015年、町村合併60周年を迎えました。茨城医療センターは3年後の2019年に70周年を迎えます。



この企画の実施にあたり、阿見町役場及び八王子市役所の皆様へ地域の歴史写真の提供やロゴの使用許可等ご協力いただきました。ありがとうございました。

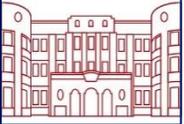


@八王子医療センター  
 2階外来スペース写真ギャラリー

八王子市は2017年に市制100周年を、八王子医療センターは4年後の2020年に40周年を迎えます。



# 100周年かわら版



2016  
 (平成28年)

第11号

発行：東京医科大学創立  
 100周年事業広報委員会

事務局：法人経営企画・広報室

☎03-3351-6141(内線298)

✉keiei@tokyo-med.ac.jp

東京医科大学  
 創立100周年記念特設サイト

<http://www.tokyo-med.ac.jp/100years/>

創立100周年を迎える  
 2016年4月13日まで  
 あと **78** 日

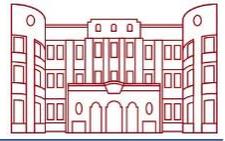
歴史写真パネルの制作・設置にご協力頂きました茨城医療センター・八王子医療センターの病院長はじめスタッフの皆様、ご協力ありがとうございました。

連載企画

歴史に学び、  
歴史を創る。

## 八王子特集

### 第7章 なぜ八王子に附属病院ができたのか?



## 八王子に附属病院ができた理由

八王子医療センターは、昭和55年(1980)に開設し、今年36周年になる本学三つ目の附属病院である。当時、本学ではインターン制度廃止後の**卒業教育の充実のため、新たな附属病院の建設が大きな課題**となっていた。同じ頃、八王子市は人口36万人を擁しながらも、市内に高度医療技術を有する大病院がなく、この問題を解決するため、**市当局から大学病院との提携により医療供給を行う方針が打ち出され、医師会等との話し合いの末、本学を含む四大学が候補にあがった。**検討が重ねられた結果、**本学が提携大学として選定され、八王子市と「八王子医療センター建設及び管理運営に関する基本協定」を締結し、病院の建設に至った**のだった。

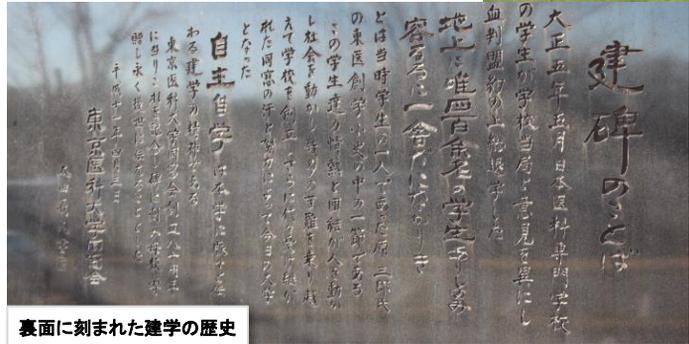
八王子医療センター  
＜昭和55年4月開院＞



当初は循環器疾患を対象とした地域の救命救急センターとして220床で発足した八王子医療センターは、その後も、**地域のニーズに応えながら、診療科と病床の増設・増床を重ね、現在では34診療科、610床を誇る総合病院となっている。**

## 「自主自学記念碑」物語

「自主自学」といえば、本学の建学の精神。八王子医療センターの玄関前広場にその「自主自学」が刻まれた石碑があるのをご存じだろうか。これは平成11年(1999)に本学同窓会創立80周年の記念に、同窓会より本学に寄贈されたもの。「**病院の入口にあるこの碑を日々仰いで建学の精神に立ち返り、常に学ぶ姿勢を心に留めるようにしたい**」という当時の職員の言葉を忘れずにいたい。



裏面に刻まれた建学の歴史

【参考文献】

- 東京医科大学七十年史
- 東京医科大学報 129・151・280・377・380号

撮影協力:八王子医療センター総務課亀ヶ谷さん

(監修:東京医科大学図書館)

新連載  
鈴木学長が語る

## 耳からウロコ Vol.1

「耳からうるこを落としたい—少しだけ長生きしたい理由—」



近年、何につけても変化があまりにも急激なので、それらを見届けるため多少は長生きしたいと思うようになりました。もうしばらくは生きられると楽観的に考えてみると、身の回りでは、東医の新病院や卒業生の活躍ぶりをはじめ、癌治療や再生医療、ロボットやITの進歩があります。他にも地球温暖化、中東・北朝鮮情勢など限りなく思い浮かびます。もちろん最も関心があるのは東医に関することです。東医のことをもっと見聞きて、目からうるこ、いや私の医師としての専門は耳鼻咽喉科ですので、「耳からうるこ」も

落としていきたいものです。とはいえ、聞く、だけに集中せず、五感をめいっぱい働かせて東医のみなさんのことを知りたいと思います。見聞するにははっきりした頭が必要です。鈍らないように今から対策を講じたいと思いながら…。今回から、かわら版の片隅を借りまして、私を感じた、東医や世間の「耳からうるこ」話を伝えていきたいと思っています。(学長 鈴木 衛)

## BOOK END募金(古本募金) スタートしました!!

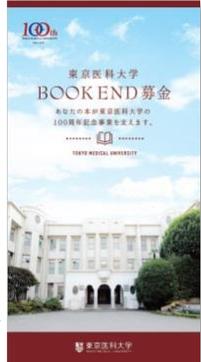
昨年12月より**古本募金**を開始しました。これは、読み終えた書籍の売却代金が「**東京医科大学創立100周年記念事業募金**」となるプロジェクトです。詳しくはHPをご覧ください。

- 点数制限なし!
- 送料無料!(5点以上)
- 宅配業者が集荷!



<http://www.furuhon-bokin.jp/tokyo-med/>

(事務局:財務部募金センター)



## えんがわ広報。

あ、なんか新しいコーナーが始まるにや。

2016年、ついに創立100周年の年を迎えました。今号から鈴木学長が語る新連載「耳からウロコ」がスタート!学長に日頃感じている想いを綴ってもらうコーナーです。そしてその想いがいつの日か八王子にある記念碑のように残される日が来れば…。

かわら版を発行し始めて1年。こうした想いをしっかりと後世に繋げていく記録の一つとして、引き続き発行していきたいと思っています♪

皆さんもこの「100年」という節目に、後世へ繋げる記録を刻んでみませんか?(R)

## 東医クイズ

NO.2

de 記念グッズプレゼント!

【問題】八王子にある「自主自学記念碑」はどこから何の記念に寄贈されたものでしょう?

回答と100周年かわら版の感想を記入のうえ、メールでご応募ください。正解者のうち抽選で3名様に創立100周年記念グッズをプレゼントします!当選の発表は、グッズの発送をもって替えさせていただきます。

応募先: keiei@tokyo-med.ac.jp 締切: 2月24日(水)迄  
宛先: 法人経営企画・広報室 件名: 【東医クイズ応募】  
※本文に商品発送先(氏名及び所属施設・部署名)記入

## 東医クイズNO.1の答え合わせ

【問題】「高橋記念館」は現在、どこかの施設にあり、何という名称に変わっているのでしょうか?

【正解】茨城医療センターひまわり保育室

1月

八王子に歴史写真パネル掲出開始

12月

百周年YEAR突入! カウントダウンリリース!

募金センター通信創刊 ブックエンド募金開始

100th  
近未来  
動  
静